

【サブスペシャリティ23領域】評価表

| |
|-----------------|
| 事務局入力欄 |
| 自動計算欄 |
| 委員入力欄(該当に1を入れる) |

サブスペシャリティ領域23領域
 消化器病・循環器・呼吸器・血液・内分泌代謝科・糖尿病・腎臓・肝臓・アレルギー・感染症・老年病・神経内科・リウマチ・消化器内視鏡・がん薬物療法
 消化器外科・呼吸器外科・心臓血管外科・小児外科・乳腺・内分泌外科
 放射線診断・放射線治療

※小数点四捨五入

1.消化器病

| | 評価項目 | 委員 | | | | 平均値 | 備考 |
|-----------------------|--|-------------------------------------|-------------|---|-----|-----|--|
| | | 数値 | 有 | 無 | 要確認 | | |
| 1. 専門医像と社会的使命 必須 | 1) 社会的使命 2) 対象となる患者像とその推定数 3) 専門医の素養と必要な知識、実施可能となる手技 4) 現状で該当する社会的役割の有無 | | | | | 93 | ←平均点 |
| 2. 基本領域の承認 必須 | 1) 最も医師数の多い基本領域の医師数割合(%)と承認の有無 (内科) 2) 2番目に医師数の多い基本領域の医師数割合(%)と承認の有無 (外科) 3) 3番目に医師数の多い基本領域の医師数割合(%)と承認の有無 (放射線科) | 78.66 20.72 0.34 | ○ ○ ○ | | | 100 | 有が必須要件 1)での承認あり 100点 2)3)参考 |
| 3. サブスペシャリティ領域としての認知 | 1)-a 常勤医による診療科・部門あり・大学病院本院(50%以上が目標) 何%かを記載 1)-b 常勤医による診療科・部門あり・臨床研修病院(25%以上が目標) 何%かを記載 2)-a 常勤医による週1回以上の専門外来・大学病院本院(75%以上が目標) 何%かを記載 2)-b 常勤医による週1回以上の専門外来・臨床研修病院(50%以上が目標) 何%かを記載 | 100 99 100 99 | | | | 100 | ←最高点 75%以上100点、50%以上75点、40%以上50点、40%未満0点 50%以上100点、25%以上75点、15%以上50点、15%未満0点 90%以上100点、75%以上75点、50%以上50点、50%未満0点 75%以上100点、50%以上75点、40%以上50点、40%未満0点 |
| 4. 専門医数 | 1) 専門医数 2) 学会の総医師数 3) 大学病院に1名以上の常勤医(100%が目標)何%かを記載 4) 臨床研修病院に1名以上の常勤医(50%以上が目標)何%かを記載 5) 専門医が2名以上の都道府県数(47が目標) 都道府県数を記載 | 21701 34787 100 93.5 47 | | | | 100 | 参考 ←最高点 100%で100点、75%以上で50点、75%未満で0点 75%以上100点、50%以上75点、40%以上50点、40%未満0点 47で100点、36以上で50点、36未満で0点 |
| 5. 専門研修施設数・指導医数 必須 | 1) 専門研修施設総数 2) 指導医数 3) 都道府県に研修施設があり、指導医がいる(47が目標) 都道府県数を記載 4) 同じブロックで研修体制を確立できる見込み(上記を満たさない場合) | 1489 4634 47 - | | | | 100 | 参考 ←合算 47で100点、36以上で50点、36未満で0点 都道府県の全てのブロック内で体制が組める場合50点加算 |
| 6. 専門医制度の安定性 | 1) 専門医制度創設からの年数(目標10年以上) 年数を記載 2) 1回以上の資格更新者の割合(目標30%以上) 何%かを記載 3) 無試験の専門医数の割合(目標10%未満) 何%かを記載 | 32 81 17 | | | | 92 | ←平均点 <10年:0点 <20年:50点 <30年:75点 ≥30年:100点 <40%:0点 <60%:50点 <80%:75点 ≥80%:100点 ≥30%:0点 <30%:50点 <20%:75点 <10%:100点 |
| 7. 専門研修整備基準 | 1) 専門研修施設の指定と指導 2) 専門研修施設に偏りが無い 3) 一定以上の症例経験が確保されている 4) 研修の修了基準が明確 5) 女性医師や地域枠に配慮している | | | | | 95 | ←平均点 |
| 8. 客観的基準に基づく専門医認定 | 1) 客観的な試験 2) 認定試験の承認 | | | | | 88 | ←平均点 |
| 9. 全体評価 | 全体的な評価 | | | | | 96 | ←すべての平均点 |
| 10. 総合評価 | | | | | | | 合否 |

2.肝臓

| | 評価項目 | 委員 | | | | 平均値 | 備考 |
|-----------------------|--|-----------------------------------|-------------|---|-----|-----|--|
| | | 数値 | 有 | 無 | 要確認 | | |
| 1. 専門医像と社会的使命 必須 | 1) 社会的使命 2) 対象となる患者像とその推定数 3) 専門医の素養と必要な知識、実施可能となる手技 4) 現状で該当する社会的役割の有無 | | | | | 84 | ←平均点 |
| 2. 基本領域の承認 必須 | 1) 最も医師数の多い基本領域の医師数割合(%)と承認の有無 (内科) 2) 2番目に医師数の多い基本領域の医師数割合(%)と承認の有無 (外科) 3) 3番目に医師数の多い基本領域の医師数割合(%)と承認の有無 (小児科) | 84.4 14.6 0.5 | ○ ○ ○ | | | 100 | 有が必須要件 1)での承認あり 100点 2)3)参考 |
| 3. サブスペシャリティ領域としての認知 | 1)-a 常勤医による診療科・部門あり・大学病院本院(50%以上が目標) 何%かを記載 1)-b 常勤医による診療科・部門あり・臨床研修病院(25%以上が目標) 何%かを記載 2)-a 常勤医による週1回以上の専門外来・大学病院本院(75%以上が目標) 何%かを記載 2)-b 常勤医による週1回以上の専門外来・臨床研修病院(50%以上が目標) 何%かを記載 | 100 93 100 93 | | | | 100 | ←最高点 75%以上100点、50%以上75点、40%以上50点、40%未満0点 50%以上100点、25%以上75点、15%以上50点、15%未満0点 90%以上100点、75%以上75点、50%以上50点、50%未満0点 75%以上100点、50%以上75点、40%以上50点、40%未満0点 |
| 4. 専門医数 | 1) 専門医数 2) 学会の総医師数 3) 大学病院に1名以上の常勤医(100%が目標)何%かを記載 4) 臨床研修病院に1名以上の常勤医(50%以上が目標)何%かを記載 5) 専門医が2名以上の都道府県数(47が目標) 都道府県数を記載 | 5745 11,368 100 87 47 | | | | 100 | 参考 ←最高点 100%で100点、75%以上で50点、75%未満で0点 75%以上100点、50%以上75点、40%以上50点、40%未満0点 47で100点、36以上で50点、36未満で0点 |
| 5. 専門研修施設数・指導医数 必須 | 1) 専門研修施設総数 2) 指導医数 3) 都道府県に研修施設があり、指導医がいる(47が目標) 都道府県数を記載 4) 同じブロックで研修体制を確立できる見込み(上記を満たさない場合) | 615 898 47 - | | | | 100 | 参考 ←合算 47で100点、36以上で50点、36未満で0点 都道府県の全てのブロック内で体制が組める場合50点加算 |
| 6. 専門医制度の安定性 | 1) 専門医制度創設からの年数(目標10年以上) 年数を記載 2) 1回以上の資格更新者の割合(目標30%以上) 何%かを記載 3) 無試験の専門医数の割合(目標10%未満) 何%かを記載 | 31 77 13 | | | | 83 | ←平均点 <10年:0点 <20年:50点 <30年:75点 ≥30年:100点 <40%:0点 <60%:50点 <80%:75点 ≥80%:100点 ≥30%:0点 <30%:50点 <20%:75点 <10%:100点 |
| 7. 専門研修整備基準 | 1) 専門研修施設の指定と指導 2) 専門研修施設に偏りが無い 3) 一定以上の症例経験が確保されている 4) 研修の修了基準が明確 5) 女性医師や地域枠に配慮している | | | | | 78 | ←平均点 |
| 8. 客観的基準に基づく専門医認定 | 1) 客観的な試験 2) 認定試験の承認 | | | | | 88 | ←平均点 |
| 9. 全体評価 | 全体的な評価 | | | | | 92 | ←すべての平均点 |
| 10. 総合評価 | | | | | | | 合否 |

| | |
|-----------------|--|
| 事務局入力欄 | サブスペシャリティ領域23領域 |
| 自動計算欄 | 消化器病・循環器・呼吸器・血液・内分泌代謝科・糖尿病・腎臓・肝臓・アレルギー・感染症・老年病・神経内科・リウマチ・消化器内視鏡・がん薬物療法 |
| 委員入力欄(該当に1を入れる) | 消化器外科・呼吸器外科・心臓血管外科・小児外科・乳腺・内分泌外科 放射線診断・放射線治療 |

※小数点四捨五入

3.循環器

| | 評価項目 | 委員 | | | | 平均値 | 備考 |
|-----------------------|--|------------------------------------|------------|-------------|-----|-----|--|
| | | 数値 | 有 | 無 | 要確認 | | |
| 1. 専門医像と社会的使命 必須 | 1) 社会的使命 2) 対象となる患者像とその推定数 3) 専門医の素養と必要な知識、実施可能となる手技 4) 現状で該当する社会的役割の有無 | | | | | 98 | ←平均点 |
| 2. 基本領域の承認 必須 | 1) 最も医師数の多い基本領域の医師数割合(%)と承認の有無 (内科) 2) 2番目に医師数の多い基本領域の医師数割合(%)と承認の有無 (外科) 3) 3番目に医師数の多い基本領域の医師数割合(%)と承認の有無 (小児科) | 80 10 3 | ○ ○ | ○ | | 100 | 有が必須要件 1)での承認あり 100点 2)3)参考 |
| 3. サブスペシャリティ領域としての認知 | 1)-a 常勤医による診療科・部門あり・大学病院本院(50%以上が目標)何%かを記載 1)-b 常勤医による診療科・部門あり・臨床研修病院(25%以上が目標)何%かを記載 2)-a 常勤医による週1回以上の専門外来・大学病院本院(75%以上が目標)何%かを記載 2)-b 常勤医による週1回以上の専門外来・臨床研修病院(50%以上が目標)何%かを記載 | 100 100 100 100 | | | | 100 | ←最高点 75%以上100点、50%以上75点、40%以上50点、40%未満0点 50%以上100点、25%以上75点、15%以上50点、15%未満0点 90%以上100点、75%以上75点、50%以上50点、50%未満0点 75%以上100点、50%以上75点、40%以上50点、40%未満0点 |
| 4. 専門医数 | 1) 専門医数 2) 学会の総医師数 3) 大学病院に1名以上の常勤医(100%が目標)何%かを記載 4) 臨床研修病院に1名以上の常勤医(50%以上が目標)何%かを記載 5) 専門医が2名以上の都道府県数(47が目標)都道府県数を記載 | 14534 26258 100 100 47 | | | | 100 | 参考 ←最高点 100%で100点、75%以上で50点、75%未満で0点 75%以上100点、50%以上75点、40%以上50点、40%未満0点 47で100点、36以上で50点、36未満で0点 |
| 5. 専門研修施設数・指導医数 必須 | 1) 専門研修施設総数 2) 指導医数 3) 都道府県に研修施設があり、指導医がいる(47が目標)都道府県数を記載 4) 同じブロックで研修体制を確立できる見込み(上記を満たさない場合) | 1354 12108 47 - | | - - - | | 100 | 参考 ←合算 47で100点、36以上で50点、36未満で0点 都道府県の全てのブロック内で体制が組める場合50点加算 |
| 6. 専門医制度の安定性 | 1) 専門医制度創設からの年数(目標10年以上)年数を記載 2) 1回以上の資格更新者の割合(目標30%以上)何%かを記載 3) 無試験の専門医数の割合(目標10%未満)何%かを記載 | 30 87 19.6 | | | | 92 | ←平均点 <10年:0点 <20年:50点 <30年:75点 ≥30年:100点 <40%:0点 <60%:50点 <80%:75点 ≥80%:100点 ≥30%:0点 <30%:50点 <20%:75点 <10%:100点 |
| 7. 専門研修整備基準 | 1) 専門研修施設の指定と指導 2) 専門研修施設に偏りが無い 3) 一定以上の症例経験が確保されている 4) 研修の修了基準が明確 5) 女性医師や地域枠に配慮している | | | | | 88 | ←平均点 |
| 8. 客観的基準に基づく専門医認定 | 1) 客観的な試験 2) 認定試験の承認 | | | | | 88 | ←平均点 |
| 9. 全体評価 | 全体的な評価 | | | | | 96 | ←すべての平均点 |
| 10. 総合評価 | | | | | | | 合否 |

4.内分泌代謝科

| | 評価項目 | 委員 | | | | 平均値 | 備考 |
|-----------------------|--|-----------------------------------|-------------|-------------|-----|-----|--|
| | | 数値 | 有 | 無 | 要確認 | | |
| 1. 専門医像と社会的使命 必須 | 1) 社会的使命 2) 対象となる患者像とその推定数 3) 専門医の素養と必要な知識、実施可能となる手技 4) 現状で該当する社会的役割の有無 | | | | | 73 | ←平均点 |
| 2. 基本領域の承認 必須 | 1) 最も医師数の多い基本領域の医師数割合(%)と承認の有無 (内科) 2) 2番目に医師数の多い基本領域の医師数割合(%)と承認の有無 (小児科) 3) 3番目に医師数の多い基本領域の医師数割合(%)と承認の有無 (産婦人科) | 74.8 8.8 4.5 | ○ ○ ○ | ○ | | 100 | 有が必須要件 1)での承認あり 100点 2)3)参考 |
| 3. サブスペシャリティ領域としての認知 | 1)-a 常勤医による診療科・部門あり・大学病院本院(50%以上が目標)何%かを記載 1)-b 常勤医による診療科・部門あり・臨床研修病院(25%以上が目標)何%かを記載 2)-a 常勤医による週1回以上の専門外来・大学病院本院(75%以上が目標)何%かを記載 2)-b 常勤医による週1回以上の専門外来・臨床研修病院(50%以上が目標)何%かを記載 | 100 38.9 100 38.9 | | | | 100 | ←最高点 75%以上100点、50%以上75点、40%以上50点、40%未満0点 50%以上100点、25%以上75点、15%以上50点、15%未満0点 90%以上100点、75%以上75点、50%以上50点、50%未満0点 75%以上100点、50%以上75点、40%以上50点、40%未満0点 |
| 4. 専門医数 | 1) 専門医数 2) 学会の総医師数 3) 大学病院に1名以上の常勤医(100%が目標)何%かを記載 4) 臨床研修病院に1名以上の常勤医(50%以上が目標)何%かを記載 5) 専門医が2名以上の都道府県数(47が目標)都道府県数を記載 | 3001 7495 100 35.3 47 | | | | 100 | 参考 ←最高点 100%で100点、75%以上で50点、75%未満で0点 75%以上100点、50%以上75点、40%以上50点、40%未満0点 47で100点、36以上で50点、36未満で0点 |
| 5. 専門研修施設数・指導医数 必須 | 1) 専門研修施設総数 2) 指導医数 3) 都道府県に研修施設があり、指導医がいる(47が目標)都道府県数を記載 4) 同じブロックで研修体制を確立できる見込み(上記を満たさない場合) | 484 1241 47 - | | - - - | | 100 | 参考 ←合算 47で100点、36以上で50点、36未満で0点 都道府県の全てのブロック内で体制が組める場合50点加算 |
| 6. 専門医制度の安定性 | 1) 専門医制度創設からの年数(目標10年以上)年数を記載 2) 1回以上の資格更新者の割合(目標30%以上)何%かを記載 3) 無試験の専門医数の割合(目標10%未満)何%かを記載 | 29 68.9 8.4 | | | | 83 | ←平均点 <10年:0点 <20年:50点 <30年:75点 ≥30年:100点 <40%:0点 <60%:50点 <80%:75点 ≥80%:100点 ≥30%:0点 <30%:50点 <20%:75点 <10%:100点 |
| 7. 専門研修整備基準 | 1) 専門研修施設の指定と指導 2) 専門研修施設に偏りが無い 3) 一定以上の症例経験が確保されている 4) 研修の修了基準が明確 5) 女性医師や地域枠に配慮している | | | | | 70 | ←平均点 |
| 8. 客観的基準に基づく専門医認定 | 1) 客観的な試験 2) 認定試験の承認 | | | | | 83 | ←平均点 |
| 9. 全体評価 | 全体的な評価 | | | | | 89 | ←すべての平均点 |
| 10. 総合評価 | | | | | | | 合否 |

| | |
|-----------------|--|
| 事務局入力欄 | サブスペシャリティ領域23領域 |
| 自動計算欄 | 消化器病・循環器・呼吸器・血液・内分泌代謝科・糖尿病・腎臓・肝臓・アレルギー・感染症・老年病・神経内科・リウマチ・消化器内視鏡・がん薬物療法 |
| 委員入力欄(該当に1を入れる) | 消化器外科・呼吸器外科・心臓血管外科・小児外科・乳腺・内分泌外科 放射線診断・放射線治療 |

消化器病・循環器・呼吸器・血液・内分泌代謝科・糖尿病・腎臓・肝臓・アレルギー・感染症・老年病・神経内科・リウマチ・消化器内視鏡・がん薬物療法
消化器外科・呼吸器外科・心臓血管外科・小児外科・乳腺・内分泌外科
放射線診断・放射線治療

※小数点四捨五入

5.糖尿病

| | 評価項目 | 委員 | | | | 平均値 | 備考 |
|-----------------------|--|----------------------------|--------|---|-----|-----|--|
| | | 数値 | 有 | 無 | 要確認 | | |
| 1. 専門医像と社会的使命 必須 | 1) 社会的使命 2) 対象となる患者像とその推定数 3) 専門医の素養と必要な知識、実施可能となる手技 4) 現状で該当する社会的役割の有無 | | | | | 93 | ←平均点 |
| 2. 基本領域の承認 必須 | 1) 最も医師数の多い基本領域の医師数割合(%)と承認の有無 (内科) 2) 2番目に医師数の多い基本領域の医師数割合(%)と承認の有無 (小児科) 3) 3番目に医師数の多い基本領域の医師数割合(%)と承認の有無 | 89 2 | ○ ○ | | | 100 | 有が必須要件 1)での承認あり 100点 2)3)参考 |
| 3. サブスペシャリティ領域としての認知 | 1)-a 常勤医による診療科・部門あり・大学病院本院(50%以上が目標)何%かを記載 1)-b 常勤医による診療科・部門あり・臨床研修病院(25%以上が目標)何%かを記載 2)-a 常勤医による週1回以上の専門外来・大学病院本院(75%以上が目標)何%かを記載 2)-b 常勤医による週1回以上の専門外来・臨床研修病院(50%以上が目標)何%かを記載 | 100 100 100 100 | | | | 100 | ←最高点 75%以上100点、50%以上75点、40%以上50点、40%未満0点 50%以上100点、25%以上75点、15%以上50点、15%未満0点 90%以上100点、75%以上75点、50%以上50点、50%未満0点 75%以上100点、50%以上75点、40%以上50点、40%未満0点 |
| 4. 専門医数 | 1) 専門医数 2) 学会の総医師数 3) 大学病院に1名以上の常勤医(100%が目標)何%かを記載 4) 臨床研修病院に1名以上の常勤医(50%以上が目標)何%かを記載 5) 専門医が2名以上の都道府県数(47が目標)都道府県数を記載 | 5971 15949 100 47 | | | | 100 | 参考 ←最高点 100%で100点、75%以上で50点、75%未満で0点 75%以上100点、50%以上75点、40%以上50点、40%未満0点 47で100点、36以上で50点、36未満で0点 |
| 5. 専門研修施設数・指導医数 必須 | 1) 専門研修施設総数 2) 指導医数 3) 都道府県に研修施設があり、指導医がいる(47が目標)都道府県数を記載 4) 同じブロックで研修体制を確立できる見込み(上記を満たさない場合) | 854 2195 47 - | | | | 100 | 参考 ←合算 47で100点、36以上で50点、36未満で0点 都道府県の全てのブロック内で体制が組める場合50点加算 |
| 6. 専門医制度の安定性 | 1) 専門医制度創設からの年数(目標10年以上)年数を記載 2) 1回以上の資格更新者の割合(目標30%以上)何%かを記載 3) 無試験の専門医数の割合(目標10%未満)何%かを記載 | 30 76 29 | | | | 75 | ←平均点 <10年:0点 <20年:50点 <30年:75点 ≥30年:100点 <40%:0点 <60%:50点 <80%:75点 ≥80%:100点 ≥30%:0点 <30%:50点 <20%:75点 <10%:100点 |
| 7. 専門研修整備基準 | 1) 専門研修施設の指定と指導 2) 専門研修施設に偏りが無い 3) 一定以上の症例経験が確保されている 4) 研修の修了基準が明確 5) 女性医師や地域枠に配慮している | | | | | 81 | ←平均点 |
| 8. 客観的基準に基づく専門医認定 | 1) 客観的な試験 2) 認定試験の承認 | | | | | 88 | ←平均点 |
| 9. 全体評価 | 全体的な評価 | | | | | 92 | ←すべての平均点 |
| 10. 総合評価 | | | | | | | 合否 |

6.腎臓

| | 評価項目 | 委員 | | | | 平均値 | 備考 |
|-----------------------|--|----------------------------------|-------------|---|-----|-----|--|
| | | 数値 | 有 | 無 | 要確認 | | |
| 1. 専門医像と社会的使命 必須 | 1) 社会的使命 2) 対象となる患者像とその推定数 3) 専門医の素養と必要な知識、実施可能となる手技 4) 現状で該当する社会的役割の有無 | | | | | 84 | ←平均点 |
| 2. 基本領域の承認 必須 | 1) 最も医師数の多い基本領域の医師数割合(%)と承認の有無 (内科) 2) 2番目に医師数の多い基本領域の医師数割合(%)と承認の有無 (小児科) 3) 3番目に医師数の多い基本領域の医師数割合(%)と承認の有無 (泌尿器科) | 88.54 7.12 3.93 | ○ ○ ○ | | | 100 | 有が必須要件 1)での承認あり 100点 2)3)参考 |
| 3. サブスペシャリティ領域としての認知 | 1)-a 常勤医による診療科・部門あり・大学病院本院(50%以上が目標)何%かを記載 1)-b 常勤医による診療科・部門あり・臨床研修病院(25%以上が目標)何%かを記載 2)-a 常勤医による週1回以上の専門外来・大学病院本院(75%以上が目標)何%かを記載 2)-b 常勤医による週1回以上の専門外来・臨床研修病院(50%以上が目標)何%かを記載 | 100 50 100 80 | | | | 100 | ←最高点 75%以上100点、50%以上75点、40%以上50点、40%未満0点 50%以上100点、25%以上75点、15%以上50点、15%未満0点 90%以上100点、75%以上75点、50%以上50点、50%未満0点 75%以上100点、50%以上75点、40%以上50点、40%未満0点 |
| 4. 専門医数 | 1) 専門医数 2) 学会の総医師数 3) 大学病院に1名以上の常勤医(100%が目標)何%かを記載 4) 臨床研修病院に1名以上の常勤医(50%以上が目標)何%かを記載 5) 専門医が2名以上の都道府県数(47が目標)都道府県数を記載 | 5023 10369 100 40 47 | | | | 100 | 参考 ←最高点 100%で100点、75%以上で50点、75%未満で0点 75%以上100点、50%以上75点、40%以上50点、40%未満0点 47で100点、36以上で50点、36未満で0点 |
| 5. 専門研修施設数・指導医数 必須 | 1) 専門研修施設総数 2) 指導医数 3) 都道府県に研修施設があり、指導医がいる(47が目標)都道府県数を記載 4) 同じブロックで研修体制を確立できる見込み(上記を満たさない場合) | 667 1755 47 - | | | | 100 | 参考 ←合算 47で100点、36以上で50点、36未満で0点 都道府県の全てのブロック内で体制が組める場合50点加算 |
| 6. 専門医制度の安定性 | 1) 専門医制度創設からの年数(目標10年以上)年数を記載 2) 1回以上の資格更新者の割合(目標30%以上)何%かを記載 3) 無試験の専門医数の割合(目標10%未満)何%かを記載 | 28 78 15 | | | | 75 | ←平均点 <10年:0点 <20年:50点 <30年:75点 ≥30年:100点 <40%:0点 <60%:50点 <80%:75点 ≥80%:100点 ≥30%:0点 <30%:50点 <20%:75点 <10%:100点 |
| 7. 専門研修整備基準 | 1) 専門研修施設の指定と指導 2) 専門研修施設に偏りが無い 3) 一定以上の症例経験が確保されている 4) 研修の修了基準が明確 5) 女性医師や地域枠に配慮している | | | | | 78 | ←平均点 |
| 8. 客観的基準に基づく専門医認定 | 1) 客観的な試験 2) 認定試験の承認 | | | | | 88 | ←平均点 |
| 9. 全体評価 | 全体的な評価 | | | | | 91 | ←すべての平均点 |
| 10. 総合評価 | | | | | | | 合否 |

| |
|-----------------|
| 事務局入力欄 |
| 自動計算欄 |
| 委員入力欄(該当に1を入れる) |

サブスペシャルティ領域23領域
 消化器病・循環器・呼吸器・血液・内分泌代謝科・糖尿病・腎臓・肝臓・アレルギー・感染症・老年病・神経内科・リウマチ・消化器内視鏡・がん薬物療法
 消化器外科・呼吸器外科・心臓血管外科・小児外科・乳腺・内分泌外科
 放射線診断・放射線治療

※小数点四捨五入

7.呼吸器

| | 評価項目 | 委員 | | | | 平均値 | 備考 |
|-----------------------|--|----------------------------------|--------|---|-----|-----|--|
| | | 数値 | 有 | 無 | 要確認 | | |
| 1. 専門医像と社会的使命 必須 | 1) 社会的使命 2) 対象となる患者像とその推定数 3) 専門医の素養と必要な知識、実施可能となる手技 4) 現状で該当する社会的役割の有無 | | | | | 92 | ←平均点 |
| 2. 基本領域の承認 必須 | 1) 最も医師数の多い基本領域の医師数割合(%)と承認の有無 (内科) 2) 2番目に医師数の多い基本領域の医師数割合(%)と承認の有無 (外科) 3) 3番目に医師数の多い基本領域の医師数割合(%)と承認の有無 | 90 10 | ○ ○ | | | 100 | 有が必須要件 1)での承認あり 100点 2)3)参考 |
| 3. サブスペシャルティ領域としての認知 | 1)-a 常勤医による診療科・部門あり・大学病院本院(50%以上が目標) 何%かを記載 1)-b 常勤医による診療科・部門あり・臨床研修病院(25%以上が目標) 何%かを記載 2)-a 常勤医による週1回以上の専門外来・大学病院本院(75%以上が目標) 何%かを記載 2)-b 常勤医による週1回以上の専門外来・臨床研修病院(50%以上が目標) 何%かを記載 | 100 100 100 90 | | | | 100 | ←最高点 75%以上100点、50%以上75点、40%以上50点、40%未満0点 50%以上100点、25%以上75点、15%以上50点、15%未満0点 90%以上100点、75%以上75点、50%以上50点、50%未満0点 75%以上100点、50%以上75点、40%以上50点、40%未満0点 |
| 4. 専門医数 | 1) 専門医数 2) 学会の総医師数 3) 大学病院に1名以上の常勤医(100%が目標)何%かを記載 4) 臨床研修病院に1名以上の常勤医(50%以上が目標)何%かを記載 5) 専門医が2名以上の都道府県数(47が目標) 都道府県数を記載 | 6726 12866 100 90 47 | | | | 100 | 参考 ←最高点 100%で100点、75%以上で50点、75%未満で0点 75%以上100点、50%以上75点、40%以上50点、40%未満0点 47で100点、36以上で50点、36未満で0点 |
| 5. 専門研修施設数・指導医数 必須 | 1) 専門研修施設総数 2) 指導医数 3) 都道府県に研修施設があり、指導医がいる(47が目標) 都道府県数を記載 4) 同じブロックで研修体制を確立できる見込み(上記を満たさない場合) | 800 2572 47 - | | | | 100 | 参考 ←合算 47で100点、36以上で50点、36未満で0点 都道府県の全てのブロック内で体制が組める場合50点加算 |
| 6. 専門医制度の安定性 | 1) 専門医制度創設からの年数(目標10年以上) 年数を記載 2) 1回以上の資格更新者の割合(目標30%以上) 何%かを記載 3) 無試験の専門医数の割合(目標10%未満) 何%かを記載 | 30 77 0 | | | | 92 | ←平均点 <10年:0点 <20年:50点 <30年:75点 ≥30年:100点 <40%:0点 <60%:50点 <80%:75点 ≥80%:100点 ≥30%:0点 <30%:50点 <20%:75点 <10%:100点 |
| 7. 専門研修整備基準 | 1) 専門研修施設の指定と指導 2) 専門研修施設に偏りが無い 3) 一定以上の症例経験が確保されている 4) 研修の修了基準が明確 5) 女性医師や地域枠に配慮している | | | | | 89 | ←平均点 |
| 8. 客観的基準に基づく専門医認定 | 1) 客観的な試験 2) 認定試験の承認 | | | | | 88 | ←平均点 |
| 9. 全体評価 | 全体的な評価 | | | | | 95 | ←すべての平均点 |
| 10. 総合評価 | | | | | | | 合否 |

8.血液

| | 評価項目 | 委員 | | | | 平均値 | 備考 |
|-----------------------|--|------------------------------------|--------|---|-----|-----|--|
| | | 数値 | 有 | 無 | 要確認 | | |
| 1. 専門医像と社会的使命 必須 | 1) 社会的使命 2) 対象となる患者像とその推定数 3) 専門医の素養と必要な知識、実施可能となる手技 4) 現状で該当する社会的役割の有無 | | | | | 93 | ←平均点 |
| 2. 基本領域の承認 必須 | 1) 最も医師数の多い基本領域の医師数割合(%)と承認の有無 (内科) 2) 2番目に医師数の多い基本領域の医師数割合(%)と承認の有無 (小児科) 3) 3番目に医師数の多い基本領域の医師数割合(%)と承認の有無 | 87 13 | ○ ○ | | | 100 | 有が必須要件 1)での承認あり 100点 2)3)参考 |
| 3. サブスペシャルティ領域としての認知 | 1)-a 常勤医による診療科・部門あり・大学病院本院(50%以上が目標) 何%かを記載 1)-b 常勤医による診療科・部門あり・臨床研修病院(25%以上が目標) 何%かを記載 2)-a 常勤医による週1回以上の専門外来・大学病院本院(75%以上が目標) 何%かを記載 2)-b 常勤医による週1回以上の専門外来・臨床研修病院(50%以上が目標) 何%かを記載 | 100 75.9 100 75.9 | | | | 100 | ←最高点 75%以上100点、50%以上75点、40%以上50点、40%未満0点 50%以上100点、25%以上75点、15%以上50点、15%未満0点 90%以上100点、75%以上75点、50%以上50点、50%未満0点 75%以上100点、50%以上75点、40%以上50点、40%未満0点 |
| 4. 専門医数 | 1) 専門医数 2) 学会の総医師数 3) 大学病院に1名以上の常勤医(100%が目標)何%かを記載 4) 臨床研修病院に1名以上の常勤医(50%以上が目標)何%かを記載 5) 専門医が2名以上の都道府県数(47が目標) 都道府県数を記載 | 4130 6970 100 68.09 47 | | | | 100 | 参考 ←最高点 100%で100点、75%以上で50点、75%未満で0点 75%以上100点、50%以上75点、40%以上50点、40%未満0点 47で100点、36以上で50点、36未満で0点 |
| 5. 専門研修施設数・指導医数 必須 | 1) 専門研修施設総数 2) 指導医数 3) 都道府県に研修施設があり、指導医がいる(47が目標) 都道府県数を記載 4) 同じブロックで研修体制を確立できる見込み(上記を満たさない場合) | 498 2035 47 - | | | | 100 | 参考 ←合算 47で100点、36以上で50点、36未満で0点 都道府県の全てのブロック内で体制が組める場合50点加算 |
| 6. 専門医制度の安定性 | 1) 専門医制度創設からの年数(目標10年以上) 年数を記載 2) 1回以上の資格更新者の割合(目標30%以上) 何%かを記載 3) 無試験の専門医数の割合(目標10%未満) 何%かを記載 | 30 81.7 15.5 | | | | 92 | ←平均点 <10年:0点 <20年:50点 <30年:75点 ≥30年:100点 <40%:0点 <60%:50点 <80%:75点 ≥80%:100点 ≥30%:0点 <30%:50点 <20%:75点 <10%:100点 |
| 7. 専門研修整備基準 | 1) 専門研修施設の指定と指導 2) 専門研修施設に偏りが無い 3) 一定以上の症例経験が確保されている 4) 研修の修了基準が明確 5) 女性医師や地域枠に配慮している | | | | | 91 | ←平均点 |
| 8. 客観的基準に基づく専門医認定 | 1) 客観的な試験 2) 認定試験の承認 | | | | | 83 | ←平均点 |
| 9. 全体評価 | 全体的な評価 | | | | | 95 | ←すべての平均点 |
| 10. 総合評価 | | | | | | | 合否 |

| | |
|-----------------|--|
| 事務局入力欄 | サブスペシャリティ領域23領域 |
| 自動計算欄 | 消化器病・循環器・呼吸器・血液・内分泌代謝科・糖尿病・腎臓・肝臓・アレルギー・感染症・老年病・神経内科・リウマチ・消化器内視鏡・がん薬物療法 |
| 委員入力欄(該当に1を入れる) | 消化器外科・呼吸器外科・心臓血管外科・小児外科・乳腺・内分泌外科 放射線診断・放射線治療 |

※小数点四捨五入

9.神経内科

| 評価項目 | 委員 | | | | 平均値 | 備考 |
|-----------------------|--|----------------------------------|---|-----|-----|--|
| | 数値 | 有 | 無 | 要確認 | | |
| 1. 専門医像と社会的使命 必須 | 1) 社会的使命 2) 対象となる患者像とその推定数 3) 専門医の素養と必要な知識、実施可能となる手技 4) 現状で該当する社会的役割の有無 | | | | 81 | ←平均点 |
| 2. 基本領域の承認 必須 | 1) 最も医師数の多い基本領域の医師数割合(%)と承認の有無 (内科) 2) 2番目に医師数の多い基本領域の医師数割合(%)と承認の有無 3) 3番目に医師数の多い基本領域の医師数割合(%)と承認の有無 | 100 | ○ | | 100 | 有が必須要件 1)での承認あり 100点 2)3)参考 |
| 3. サブスペシャリティ領域としての認知 | 1)-a 常勤医による診療科・部門あり・大学病院本院(50%以上が目標) 何%かを記載 1)-b 常勤医による診療科・部門あり・臨床研修病院(25%以上が目標) 何%かを記載 2)-a 常勤医による週1回以上の専門外来・大学病院本院(75%以上が目標) 何%かを記載 2)-b 常勤医による週1回以上の専門外来・臨床研修病院(50%以上が目標) 何%かを記載 | 100 100 100 100 | | | 100 | ←最高点 75%以上100点、50%以上75点、40%以上50点、40%未満0点 50%以上100点、25%以上75点、15%以上50点、15%未満0点 90%以上100点、75%以上75点、50%以上50点、50%未満0点 75%以上100点、50%以上75点、40%以上50点、40%未満0点 |
| 4. 専門医数 | 1) 専門医数 2) 学会の総医師数 3) 大学病院に1名以上の常勤医(100%が目標)何%かを記載 4) 臨床研修病院に1名以上の常勤医(50%以上が目標)何%かを記載 5) 専門医が2名以上の都道府県数(47が目標) 都道府県数を記載 | 5922 8623 100 100 47 | | | 100 | 参考 ←最高点 100%で100点、75%以上で50点、75%未満で0点 75%以上100点、50%以上75点、40%以上50点、40%未満0点 47で100点、36以上で50点、36未満で0点 |
| 5. 専門研修施設数・指導医数 必須 | 1) 専門研修施設総数 2) 指導医数 3) 都道府県に研修施設があり、指導医がいる(47が目標) 都道府県数を記載 4) 同じブロックで研修体制を確立できる見込み(上記を満たさない場合) | 798 2986 47 - | | | 100 | 参考 ←合算 47で100点、36以上で50点、36未満で0点 都道府県の全てのブロック内で体制が組める場合50点加算 |
| 6. 専門医制度の安定性 | 1) 専門医制度創設からの年数(目標10年以上) 年数を記載 2) 1回以上の資格更新者の割合(目標30%以上) 何%かを記載 3) 無試験の専門医数の割合(目標10%未満) 何%かを記載 | 44 83 3 | | | 100 | ←平均点 <10年:0点 <20年:50点 <30年:75点 ≥30年:100点 <40%:0点 <60%:50点 <80%:75点 ≥80%:100点 ≥30%:0点 <30%:50点 <20%:75点 <10%:100点 |
| 7. 専門研修整備基準 | 1) 専門研修施設の指定と指導 2) 専門研修施設に偏りが無い 3) 一定以上の症例経験が確保されている 4) 研修の修了基準が明確 5) 女性医師や地域枠に配慮している | | | | 78 | ←平均点 |
| 8. 客観的基準に基づく専門医認定 | 1) 客観的な試験 2) 認定試験の承認 | | | | 83 | ←平均点 |
| 9. 全体評価 | 全体的な評価 | | | | 93 | ←すべての平均点 |
| 10. 総合評価 | | | | | | 合否 |

10.アレルギー

| 評価項目 | 委員 | | | | 平均値 | 備考 |
|-----------------------|--|----------------------------------|---|-----|-----|--|
| | 数値 | 有 | 無 | 要確認 | | |
| 1. 専門医像と社会的使命 必須 | 1) 社会的使命 2) 対象となる患者像とその推定数 3) 専門医の素養と必要な知識、実施可能となる手技 4) 現状で該当する社会的役割の有無 | | | | 73 | ←平均点 |
| 2. 基本領域の承認 必須 | 1) 最も医師数の多い基本領域の医師数割合(%)と承認の有無 (内科) 2) 2番目に医師数の多い基本領域の医師数割合(%)と承認の有無 (小児科) 3) 3番目に医師数の多い基本領域の医師数割合(%)と承認の有無 (皮膚科) | 42.89 28.84 11.94 | ○ | | 100 | 有が必須要件 1)での承認あり 100点 2)3)参考 |
| 3. サブスペシャリティ領域としての認知 | 1)-a 常勤医による診療科・部門あり・大学病院本院(50%以上が目標) 何%かを記載 1)-b 常勤医による診療科・部門あり・臨床研修病院(25%以上が目標) 何%かを記載 2)-a 常勤医による週1回以上の専門外来・大学病院本院(75%以上が目標) 何%かを記載 2)-b 常勤医による週1回以上の専門外来・臨床研修病院(50%以上が目標) 何%かを記載 | 98.77 98.77 98.77 98.77 | | | 100 | ←最高点 75%以上100点、50%以上75点、40%以上50点、40%未満0点 50%以上100点、25%以上75点、15%以上50点、15%未満0点 90%以上100点、75%以上75点、50%以上50点、50%未満0点 75%以上100点、50%以上75点、40%以上50点、40%未満0点 |
| 4. 専門医数 | 1) 専門医数 2) 学会の総医師数 3) 大学病院に1名以上の常勤医(100%が目標)何%かを記載 4) 臨床研修病院に1名以上の常勤医(50%以上が目標)何%かを記載 5) 専門医が2名以上の都道府県数(47が目標) 都道府県数を記載 | 3926 11100 97 100 47 | | | 100 | 参考 ←最高点 100%で100点、75%以上で50点、75%未満で0点 75%以上100点、50%以上75点、40%以上50点、40%未満0点 47で100点、36以上で50点、36未満で0点 |
| 5. 専門研修施設数・指導医数 必須 | 1) 専門研修施設総数 2) 指導医数 3) 都道府県に研修施設があり、指導医がいる(47が目標) 都道府県数を記載 4) 同じブロックで研修体制を確立できる見込み(上記を満たさない場合) | 745 612 47 - | | | 100 | 参考 ←合算 47で100点、36以上で50点、36未満で0点 都道府県の全てのブロック内で体制が組める場合50点加算 |
| 6. 専門医制度の安定性 | 1) 専門医制度創設からの年数(目標10年以上) 年数を記載 2) 1回以上の資格更新者の割合(目標30%以上) 何%かを記載 3) 無試験の専門医数の割合(目標10%未満) 何%かを記載 | 32 76 0 | | | 92 | ←平均点 <10年:0点 <20年:50点 <30年:75点 ≥30年:100点 <40%:0点 <60%:50点 <80%:75点 ≥80%:100点 ≥30%:0点 <30%:50点 <20%:75点 <10%:100点 |
| 7. 専門研修整備基準 | 1) 専門研修施設の指定と指導 2) 専門研修施設に偏りが無い 3) 一定以上の症例経験が確保されている 4) 研修の修了基準が明確 5) 女性医師や地域枠に配慮している | | | | 73 | ←平均点 |
| 8. 客観的基準に基づく専門医認定 | 1) 客観的な試験 2) 認定試験の承認 | | | | 81 | ←平均点 |
| 9. 全体評価 | 全体的な評価 | | | | 90 | ←すべての平均点 |
| 10. 総合評価 | | | | | | 合否 |

| | |
|-----------------|--|
| 事務局入力欄 | サブスペシャリティ領域23領域 |
| 自動計算欄 | 消化器病・循環器・呼吸器・血液・内分泌代謝科・糖尿病・腎臓・肝臓・アレルギー・感染症・老年病・神経内科・リウマチ・消化器内視鏡・がん薬物療法 |
| 委員入力欄(該当に1を入れる) | 消化器外科・呼吸器外科・心臓血管外科・小児外科・乳腺・内分泌外科 放射線診断・放射線治療 |

※小数点四捨五入

11.リウマチ

| | 評価項目 | 委員 | | | | 平均値 | 備考 |
|-----------------------|--|---------------------------------|-------------|---|-----|-----|--|
| | | 数値 | 有 | 無 | 要確認 | | |
| 1. 専門医像と社会的使命 必須 | 1) 社会的使命 2) 対象となる患者像とその推定数 3) 専門医の素養と必要な知識、実施可能となる手技 4) 現状で該当する社会的役割の有無 | | | | | 70 | ←平均点 |
| 2. 基本領域の承認 必須 | 1) 最も医師数の多い基本領域の医師数割合(%)と承認の有無 (内科) 2) 2番目に医師数の多い基本領域の医師数割合(%)と承認の有無 (整形外科) 3) 3番目に医師数の多い基本領域の医師数割合(%)と承認の有無 (小児科) | 46.7 45.1 1 | ○ ○ ○ | | | 100 | 有が必須要件 1)での承認あり 100点 2)3)参考 |
| 3. サブスペシャリティ領域としての認知 | 1)-a 常勤医による診療科・部門あり・大学病院本院(50%以上が目標)何%かを記載 1)-b 常勤医による診療科・部門あり・臨床研修病院(25%以上が目標)何%かを記載 2)-a 常勤医による週1回以上の専門外来・大学病院本院(75%以上が目標)何%かを記載 2)-b 常勤医による週1回以上の専門外来・臨床研修病院(50%以上が目標)何%かを記載 | 96 36 100 39 | | | | 100 | ←最高点 75%以上100点、50%以上75点、40%以上50点、40%未満0点 50%以上100点、25%以上75点、15%以上50点、15%未満0点 90%以上100点、75%以上75点、50%以上50点、50%未満0点 75%以上100点、50%以上75点、40%以上50点、40%未満0点 |
| 4. 専門医数 | 1) 専門医数 2) 学会の総医師数 3) 大学病院に1名以上の常勤医(100%が目標)何%かを記載 4) 臨床研修病院に1名以上の常勤医(50%以上が目標)何%かを記載 5) 専門医が2名以上の都道府県数(47が目標)都道府県数を記載 | 4736 9818 100 39 47 | | | | 100 | 参考 ←最高点 100%で100点、75%以上で50点、75%未満で0点 75%以上100点、50%以上75点、40%以上50点、40%未満0点 47で100点、36以上で50点、36未満で0点 |
| 5. 専門研修施設数・指導医数 必須 | 1) 専門研修施設総数 2) 指導医数 3) 都道府県に研修施設があり、指導医がいる(47が目標)都道府県数を記載 4) 同じブロックで研修体制を確立できる見込み(上記を満たさない場合) | 744 1425 47 - | | | | 100 | 参考 ←合算 47で100点、36以上で50点、36未満で0点 都道府県の全てのブロック内で体制が組める場合50点加算 |
| 6. 専門医制度の安定性 | 1) 専門医制度創設からの年数(目標10年以上)年数を記載 2) 1回以上の資格更新者の割合(目標30%以上)何%かを記載 3) 無試験の専門医数の割合(目標10%未満)何%かを記載 | 32 84 0 | | | | 100 | ←平均点 <10年:0点 <20年:50点 <30年:75点 ≥30年:100点 <40%:0点 <60%:50点 <80%:75点 ≥80%:100点 ≥30%:0点 <30%:50点 <20%:75点 <10%:100点 |
| 7. 専門研修整備基準 | 1) 専門研修施設の指定と指導 2) 専門研修施設に偏りが無い 3) 一定以上の症例経験が確保されている 4) 研修の修了基準が明確 5) 女性医師や地域枠に配慮している | | | | | 72 | ←平均点 |
| 8. 客観的基準に基づく専門医認定 | 1) 客観的な試験 2) 認定試験の承認 | | | | | 83 | ←平均点 |
| 9. 全体評価 | 全体的な評価 | | | | | 91 | ←すべての平均点 |
| 10. 総合評価 | | | | | | | 合否 |

12.老年病

| | 評価項目 | 委員 | | | | 平均値 | 備考 |
|-----------------------|--|------------------------------------|-------------|---|-----|-----|--|
| | | 数値 | 有 | 無 | 要確認 | | |
| 1. 専門医像と社会的使命 必須 | 1) 社会的使命 2) 対象となる患者像とその推定数 3) 専門医の素養と必要な知識、実施可能となる手技 4) 現状で該当する社会的役割の有無 | | | | | 56 | ←平均点 |
| 2. 基本領域の承認 必須 | 1) 最も医師数の多い基本領域の医師数割合(%)と承認の有無 (内科) 2) 2番目に医師数の多い基本領域の医師数割合(%)と承認の有無 (精神科) 3) 3番目に医師数の多い基本領域の医師数割合(%)と承認の有無 (外科) | 98.6 0.8 0.2 | ○ ○ ○ | | | 100 | 有が必須要件 1)での承認あり 100点 2)3)参考 |
| 3. サブスペシャリティ領域としての認知 | 1)-a 常勤医による診療科・部門あり・大学病院本院(50%以上が目標)何%かを記載 1)-b 常勤医による診療科・部門あり・臨床研修病院(25%以上が目標)何%かを記載 2)-a 常勤医による週1回以上の専門外来・大学病院本院(75%以上が目標)何%かを記載 2)-b 常勤医による週1回以上の専門外来・臨床研修病院(50%以上が目標)何%かを記載 | 24.4 17.5 87.8 17.5 | | | | 75 | ←最高点 75%以上100点、50%以上75点、40%以上50点、40%未満0点 50%以上100点、25%以上75点、15%以上50点、15%未満0点 90%以上100点、75%以上75点、50%以上50点、50%未満0点 75%以上100点、50%以上75点、40%以上50点、40%未満0点 |
| 4. 専門医数 | 1) 専門医数 2) 学会の総医師数 3) 大学病院に1名以上の常勤医(100%が目標)何%かを記載 4) 臨床研修病院に1名以上の常勤医(50%以上が目標)何%かを記載 5) 専門医が2名以上の都道府県数(47が目標)都道府県数を記載 | 1498 5501 85.4 17.5 46 | | | | 50 | 参考 ←最高点 100%で100点、75%以上で50点、75%未満で0点 75%以上100点、50%以上75点、40%以上50点、40%未満0点 47で100点、36以上で50点、36未満で0点 |
| 5. 専門研修施設数・指導医数 必須 | 1) 専門研修施設総数 2) 指導医数 3) 都道府県に研修施設があり、指導医がいる(47が目標)都道府県数を記載 4) 同じブロックで研修体制を確立できる見込み(上記を満たさない場合) | 291 974 47 - | | | | 100 | 参考 ←合算 47で100点、36以上で50点、36未満で0点 都道府県の全てのブロック内で体制が組める場合50点加算 |
| 6. 専門医制度の安定性 | 1) 専門医制度創設からの年数(目標10年以上)年数を記載 2) 1回以上の資格更新者の割合(目標30%以上)何%かを記載 3) 無試験の専門医数の割合(目標10%未満)何%かを記載 | 31 88.3 30.4 | | | | 67 | ←平均点 <10年:0点 <20年:50点 <30年:75点 ≥30年:100点 <40%:0点 <60%:50点 <80%:75点 ≥80%:100点 ≥30%:0点 <30%:50点 <20%:75点 <10%:100点 |
| 7. 専門研修整備基準 | 1) 専門研修施設の指定と指導 2) 専門研修施設に偏りが無い 3) 一定以上の症例経験が確保されている 4) 研修の修了基準が明確 5) 女性医師や地域枠に配慮している | | | | | 64 | ←平均点 |
| 8. 客観的基準に基づく専門医認定 | 1) 客観的な試験 2) 認定試験の承認 | | | | | 77 | ←平均点 |
| 9. 全体評価 | 全体的な評価 | | | | | 74 | ←すべての平均点 |
| 10. 総合評価 | | | | | | | 合否 |

| | |
|-----------------|--|
| 事務局入力欄 | サブスペシャリティ領域23領域 |
| 自動計算欄 | 消化器病・循環器・呼吸器・血液・内分泌代謝科・糖尿病・腎臓・肝臓・アレルギー・感染症・老年病・神経内科・リウマチ・消化器内視鏡・がん薬物療法 |
| 委員入力欄(該当に1を入れる) | 消化器外科・呼吸器外科・心臓血管外科・小児外科・乳腺・内分泌外科 放射線診断・放射線治療 |

※小数点四捨五入

13.感染症

| | 評価項目 | 委員 | | | | 平均値 | 備考 |
|-----------------------|--|----------------------------------|------------|----------|-----|-----|--|
| | | 数値 | 有 | 無 | 要確認 | | |
| 1. 専門医像と社会的使命 必須 | 1) 社会的使命 2) 対象となる患者像とその推定数 3) 専門医の素養と必要な知識、実施可能となる手技 4) 現状で該当する社会的役割の有無 | | | | | 92 | ←平均点 |
| 2. 基本領域の承認 必須 | 1) 最も医師数の多い基本領域の医師数割合(%)と承認の有無 (内科) 2) 2番目に医師数の多い基本領域の医師数割合(%)と承認の有無 (小児科) 3) 3番目に医師数の多い基本領域の医師数割合(%)と承認の有無 (外科) | 77.55 18.5 0.73 | ○ ○ | | | 100 | 有が必須要件 1)での承認あり 100点 2)3)参考 |
| 3. サブスペシャリティ領域としての認知 | 1)-a 常勤医による診療科・部門あり・大学病院本院(50%以上が目標)何%かを記載 1)-b 常勤医による診療科・部門あり・臨床研修病院(25%以上が目標)何%かを記載 2)-a 常勤医による週1回以上の専門外来・大学病院本院(75%以上が目標)何%かを記載 2)-b 常勤医による週1回以上の専門外来・臨床研修病院(50%以上が目標)何%かを記載 | 48 10.1 48 10.1 | | | | 50 | ←最高点 75%以上100点、50%以上75点、40%以上50点、40%未満0点 50%以上100点、25%以上75点、15%以上50点、15%未満0点 90%以上100点、75%以上75点、50%以上50点、50%未満0点 75%以上100点、50%以上75点、40%以上50点、40%未満0点 |
| 4. 専門医数 | 1) 専門医数 2) 学会の総医師数 3) 大学病院に1名以上の常勤医(100%が目標)何%かを記載 4) 臨床研修病院に1名以上の常勤医(50%以上が目標)何%かを記載 5) 専門医が2名以上の都道府県数(47が目標)都道府県数を記載 | 1500 9012 95 30.7 47 | | | | 100 | 参考 ←最高点 100%で100点、75%以上で50点、75%未満で0点 75%以上100点、50%以上75点、40%以上50点、40%未満0点 47で100点、36以上で50点、36未満で0点 |
| 5. 専門研修施設数・指導医数 必須 | 1) 専門研修施設総数 2) 指導医数 3) 都道府県に研修施設があり、指導医がいる(47が目標)都道府県数を記載 4) 同じブロックで研修体制を確立できる見込み(上記を満たさない場合) | 338 754 46 - | | ○ | | 100 | 参考 ←合算 47で100点、36以上で50点、36未満で0点 都道府県の全てのブロック内で体制が組める場合50点加算 |
| 6. 専門医制度の安定性 | 1) 専門医制度創設からの年数(目標10年以上)年数を記載 2) 1回以上の資格更新者の割合(目標30%以上)何%かを記載 3) 無試験の専門医数の割合(目標10%未満)何%かを記載 | 24 73 32 | | | | 50 | ←平均点 <10年:0点 <20年:50点 <30年:75点 ≥30年:100点 <40%:0点 <60%:50点 <80%:75点 ≥80%:100点 ≥30%:0点 <30%:50点 <20%:75点 <10%:100点 |
| 7. 専門研修整備基準 | 1) 専門研修施設の指定と指導 2) 専門研修施設に偏りが無い 3) 一定以上の症例経験が確保されている 4) 研修の修了基準が明確 5) 女性医師や地域枠に配慮している | | | | | 79 | ←平均点 |
| 8. 客観的基準に基づく専門医認定 | 1) 客観的な試験 2) 認定試験の承認 | | | | | 83 | ←平均点 |
| 9. 全体評価 | 全体的な評価 | | | | | 82 | ←すべての平均点 |
| 10. 総合評価 | | | | | | | 合否 |

14.がん薬物療法

| | 評価項目 | 委員 | | | | 平均値 | 備考 |
|-----------------------|--|--------------------------------|-------------|----------|-----|-----|--|
| | | 数値 | 有 | 無 | 要確認 | | |
| 1. 専門医像と社会的使命 必須 | 1) 社会的使命 2) 対象となる患者像とその推定数 3) 専門医の素養と必要な知識、実施可能となる手技 4) 現状で該当する社会的役割の有無 | | | | | 75 | ←平均点 |
| 2. 基本領域の承認 必須 | 1) 最も医師数の多い基本領域の医師数割合(%)と承認の有無 (内科) 2) 2番目に医師数の多い基本領域の医師数割合(%)と承認の有無 (外科) 3) 3番目に医師数の多い基本領域の医師数割合(%)と承認の有無 (産婦人科) | 86.5 10.5 0.8 | ○ ○ ○ | | | 100 | 有が必須要件 1)での承認あり 100点 2)3)参考 |
| 3. サブスペシャリティ領域としての認知 | 1)-a 常勤医による診療科・部門あり・大学病院本院(50%以上が目標)何%かを記載 1)-b 常勤医による診療科・部門あり・臨床研修病院(25%以上が目標)何%かを記載 2)-a 常勤医による週1回以上の専門外来・大学病院本院(75%以上が目標)何%かを記載 2)-b 常勤医による週1回以上の専門外来・臨床研修病院(50%以上が目標)何%かを記載 | 89 21 86 17 | | | | 100 | ←最高点 75%以上100点、50%以上75点、40%以上50点、40%未満0点 50%以上100点、25%以上75点、15%以上50点、15%未満0点 90%以上100点、75%以上75点、50%以上50点、50%未満0点 75%以上100点、50%以上75点、40%以上50点、40%未満0点 |
| 4. 専門医数 | 1) 専門医数 2) 学会の総医師数 3) 大学病院に1名以上の常勤医(100%が目標)何%かを記載 4) 臨床研修病院に1名以上の常勤医(50%以上が目標)何%かを記載 5) 専門医が2名以上の都道府県数(47が目標)都道府県数を記載 | 1302 7029 93 30 47 | | | | 100 | 参考 ←最高点 100%で100点、75%以上で50点、75%未満で0点 75%以上100点、50%以上75点、40%以上50点、40%未満0点 47で100点、36以上で50点、36未満で0点 |
| 5. 専門研修施設数・指導医数 必須 | 1) 専門研修施設総数 2) 指導医数 3) 都道府県に研修施設があり、指導医がいる(47が目標)都道府県数を記載 4) 同じブロックで研修体制を確立できる見込み(上記を満たさない場合) | 430 643 47 - | | - | - | 100 | 参考 ←合算 47で100点、36以上で50点、36未満で0点 都道府県の全てのブロック内で体制が組める場合50点加算 |
| 6. 専門医制度の安定性 | 1) 専門医制度創設からの年数(目標10年以上)年数を記載 2) 1回以上の資格更新者の割合(目標30%以上)何%かを記載 3) 無試験の専門医数の割合(目標10%未満)何%かを記載 | 14 51 0 | | | | 67 | ←平均点 <10年:0点 <20年:50点 <30年:75点 ≥30年:100点 <40%:0点 <60%:50点 <80%:75点 ≥80%:100点 ≥30%:0点 <30%:50点 <20%:75点 <10%:100点 |
| 7. 専門研修整備基準 | 1) 専門研修施設の指定と指導 2) 専門研修施設に偏りが無い 3) 一定以上の症例経験が確保されている 4) 研修の修了基準が明確 5) 女性医師や地域枠に配慮している | | | | | 80 | ←平均点 |
| 8. 客観的基準に基づく専門医認定 | 1) 客観的な試験 2) 認定試験の承認 | | | | | 88 | ←平均点 |
| 9. 全体評価 | 全体的な評価 | | | | | 89 | ←すべての平均点 |
| 10. 総合評価 | | | | | | | 合否 |

| | |
|-----------------|--|
| 事務局入力欄 | サブスペシャリティ領域23領域 |
| 自動計算欄 | 消化器病・循環器・呼吸器・血液・内分泌代謝科・糖尿病・腎臓・肝臓・アレルギー・感染症・老年病・神経内科・リウマチ・消化器内視鏡・がん薬物療法 |
| 委員入力欄(該当に1を入れる) | 消化器外科・呼吸器外科・心臓血管外科・小児外科・乳腺・内分泌外科 放射線診断・放射線治療 |

※小数点四捨五入

15.消化器内視鏡

| | 評価項目 | 委員 | | | | 平均値 | 備考 |
|-----------------------|--|-----------------------------------|-------------|---|-----|-----|--|
| | | 数値 | 有 | 無 | 要確認 | | |
| 1. 専門医像と社会的使命 必須 | 1) 社会的使命 2) 対象となる患者像とその推定数 3) 専門医の素養と必要な知識、実施可能となる手技 4) 現状で該当する社会的役割の有無 | | | | | 55 | ←平均点 |
| 2. 基本領域の承認 必須 | 1) 最も医師数の多い基本領域の医師数割合(%)と承認の有無 (内科) 2) 2番目に医師数の多い基本領域の医師数割合(%)と承認の有無 (外科) 3) 3番目に医師数の多い基本領域の医師数割合(%)と承認の有無 (放射線科) | 80.4 19 0.45 | ○ ○ ○ | | | 100 | 有が必須要件 1)での承認あり 100点 2)3)参考 |
| 3. サブスペシャリティ領域としての認知 | 1)-a 常勤医による診療科・部門あり・大学病院本院(50%以上が目標)何%かを記載 1)-b 常勤医による診療科・部門あり・臨床研修病院(25%以上が目標)何%かを記載 2)-a 常勤医による週1回以上の専門外来・大学病院本院(75%以上が目標)何%かを記載 2)-b 常勤医による週1回以上の専門外来・臨床研修病院(50%以上が目標)何%かを記載 | 100 99 100 28 | | | | 100 | ←最高点 75%以上100点、50%以上75点、40%以上50点、40%未満0点 50%以上100点、25%以上75点、15%以上50点、15%未満0点 90%以上100点、75%以上75点、50%以上50点、50%未満0点 75%以上100点、50%以上75点、40%以上50点、40%未満0点 |
| 4. 専門医数 | 1) 専門医数 2) 学会の総医師数 3) 大学病院に1名以上の常勤医(100%が目標)何%かを記載 4) 臨床研修病院に1名以上の常勤医(50%以上が目標)何%かを記載 5) 専門医が2名以上の都道府県数(47が目標)都道府県数を記載 | 18520 34230 100 98 47 | | | | 100 | 参考 ←最高点 100%で100点、75%以上で50点、75%未満で0点 75%以上100点、50%以上75点、40%以上50点、40%未満0点 47で100点、36以上で50点、36未満で0点 |
| 5. 専門研修施設数・指導医数 必須 | 1) 専門研修施設総数 2) 指導医数 3) 都道府県に研修施設があり、指導医がいる(47が目標)都道府県数を記載 4) 同じブロックで研修体制を確立できる見込み(上記を満たさない場合) | 1390 6122 47 - | | | | 100 | 参考 ←合算 47で100点、36以上で50点、36未満で0点 都道府県の全てのブロック内で体制が組める場合50点加算 |
| 6. 専門医制度の安定性 | 1) 専門医制度創設からの年数(目標10年以上)年数を記載 2) 1回以上の資格更新者の割合(目標30%以上)何%かを記載 3) 無試験の専門医数の割合(目標10%未満)何%かを記載 | 32 82.6 23.7 | | | | 83 | ←平均点 <10年:0点 <20年:50点 <30年:75点 ≥30年:100点 <40%:0点 <60%:50点 <80%:75点 ≥80%:100点 ≥30%:0点 <30%:50点 <20%:75点 <10%:100点 |
| 7. 専門研修整備基準 | 1) 専門研修施設の指定と指導 2) 専門研修施設に偏りが無い 3) 一定以上の症例経験が確保されている 4) 研修の修了基準が明確 5) 女性医師や地域枠に配慮している | | | | | 79 | ←平均点 |
| 8. 客観的基準に基づく専門医認定 | 1) 客観的な試験 2) 認定試験の承認 | | | | | 85 | ←平均点 |
| 9. 全体評価 | 全体的な評価 | | | | | 88 | ←すべての平均点 |
| 10. 総合評価 | | | | | | | 合否 |

16.消化器外科

| | 評価項目 | 委員 | | | | 平均値 | 備考 |
|-----------------------|--|-----------------------------------|---|---|-----|-----|--|
| | | 数値 | 有 | 無 | 要確認 | | |
| 1. 専門医像と社会的使命 必須 | 1) 社会的使命 2) 対象となる患者像とその推定数 3) 専門医の素養と必要な知識、実施可能となる手技 4) 現状で該当する社会的役割の有無 | | | | | 100 | ←平均点 |
| 2. 基本領域の承認 必須 | 1) 最も医師数の多い基本領域の医師数割合(%)と承認の有無 (外科) 2) 2番目に医師数の多い基本領域の医師数割合(%)と承認の有無 3) 3番目に医師数の多い基本領域の医師数割合(%)と承認の有無 | 100 | ○ | | | 100 | 有が必須要件 1)での承認あり 100点 2)3)参考 |
| 3. サブスペシャリティ領域としての認知 | 1)-a 常勤医による診療科・部門あり・大学病院本院(50%以上が目標)何%かを記載 1)-b 常勤医による診療科・部門あり・臨床研修病院(25%以上が目標)何%かを記載 2)-a 常勤医による週1回以上の専門外来・大学病院本院(75%以上が目標)何%かを記載 2)-b 常勤医による週1回以上の専門外来・臨床研修病院(50%以上が目標)何%かを記載 | 100 100 100 100 | | | | 100 | ←最高点 75%以上100点、50%以上75点、40%以上50点、40%未満0点 50%以上100点、25%以上75点、15%以上50点、15%未満0点 90%以上100点、75%以上75点、50%以上50点、50%未満0点 75%以上100点、50%以上75点、40%以上50点、40%未満0点 |
| 4. 専門医数 | 1) 専門医数 2) 学会の総医師数 3) 大学病院に1名以上の常勤医(100%が目標)何%かを記載 4) 臨床研修病院に1名以上の常勤医(50%以上が目標)何%かを記載 5) 専門医が2名以上の都道府県数(47が目標)都道府県数を記載 | 7137 20047 100 100 47 | | | | 100 | 参考 ←最高点 100%で100点、75%以上で50点、75%未満で0点 75%以上100点、50%以上75点、40%以上50点、40%未満0点 47で100点、36以上で50点、36未満で0点 |
| 5. 専門研修施設数・指導医数 必須 | 1) 専門研修施設総数 2) 指導医数 3) 都道府県に研修施設があり、指導医がいる(47が目標)都道府県数を記載 4) 同じブロックで研修体制を確立できる見込み(上記を満たさない場合) | 1890 5628 47 - | | | | 100 | 参考 ←合算 47で100点、36以上で50点、36未満で0点 都道府県の全てのブロック内で体制が組める場合50点加算 |
| 6. 専門医制度の安定性 | 1) 専門医制度創設からの年数(目標10年以上)年数を記載 2) 1回以上の資格更新者の割合(目標30%以上)何%かを記載 3) 無試験の専門医数の割合(目標10%未満)何%かを記載 | 35 70 5 | | | | 92 | ←平均点 <10年:0点 <20年:50点 <30年:75点 ≥30年:100点 <40%:0点 <60%:50点 <80%:75点 ≥80%:100点 ≥30%:0点 <30%:50点 <20%:75点 <10%:100点 |
| 7. 専門研修整備基準 | 1) 専門研修施設の指定と指導 2) 専門研修施設に偏りが無い 3) 一定以上の症例経験が確保されている 4) 研修の修了基準が明確 5) 女性医師や地域枠に配慮している | | | | | 88 | ←平均点 |
| 8. 客観的基準に基づく専門医認定 | 1) 客観的な試験 2) 認定試験の承認 | | | | | 88 | ←平均点 |
| 9. 全体評価 | 全体的な評価 | | | | | 96 | ←すべての平均点 |
| 10. 総合評価 | | | | | | | 合否 |

| | |
|-----------------|--|
| 事務局入力欄 | サブスペシャリティ領域23領域 |
| 自動計算欄 | 消化器病・循環器・呼吸器・血液・内分泌代謝科・糖尿病・腎臓・肝臓・アレルギー・感染症・老年病・神経内科・リウマチ・消化器内視鏡・がん薬物療法 |
| 委員入力欄(該当に1を入れる) | 消化器外科・呼吸器外科・心臓血管外科・小児外科・乳腺・内分泌外科 放射線診断・放射線治療 |

※小数点四捨五入

17.心臓血管外科

| 評価項目 | 委員 | | | | 平均値 | 備考 |
|-----------------------|--|------------------------------------|---|-----|-----|--|
| | 数値 | 有 | 無 | 要確認 | | |
| 1. 専門医像と社会的使命 必須 | 1) 社会的使命 2) 対象となる患者像とその推定数 3) 専門医の素養と必要な知識、実施可能となる手技 4) 現状で該当する社会的役割の有無 | | | | 96 | ←平均点 |
| 2. 基本領域の承認 必須 | 1) 最も医師数の多い基本領域の医師数割合(%)と承認の有無 (外科) 2) 2番目に医師数の多い基本領域の医師数割合(%)と承認の有無 3) 3番目に医師数の多い基本領域の医師数割合(%)と承認の有無 | 100 | ○ | | 100 | 有が必須要件 1)での承認あり 100点 2)3)参考 |
| 3. サブスペシャリティ領域としての認知 | 1)-a 常勤医による診療科・部門あり・大学病院本院(50%以上が目標)何%かを記載 1)-b 常勤医による診療科・部門あり・臨床研修病院(25%以上が目標)何%かを記載 2)-a 常勤医による週1回以上の専門外来・大学病院本院(75%以上が目標)何%かを記載 2)-b 常勤医による週1回以上の専門外来・臨床研修病院(50%以上が目標)何%かを記載 | 100 80 100 80 | | | 100 | ←最高点 75%以上100点、50%以上75点、40%以上50点、40%未満0点 50%以上100点、25%以上75点、15%以上50点、15%未満0点 90%以上100点、75%以上75点、50%以上50点、50%未満0点 75%以上100点、50%以上75点、40%以上50点、40%未満0点 |
| 4. 専門医数 | 1) 専門医数 2) 学会の総医師数 3) 大学病院に1名以上の常勤医(100%が目標)何%かを記載 4) 臨床研修病院に1名以上の常勤医(50%以上が目標)何%かを記載 5) 専門医が2名以上の都道府県数(47が目標)都道府県数を記載 | 2194 15617 100 46.7 47 | | | 100 | 参考 ←最高点 100%で100点、75%以上で50点、75%未満で0点 75%以上100点、50%以上75点、40%以上50点、40%未満0点 47で100点、36以上で50点、36未満で0点 |
| 5. 専門研修施設数・指導医数 必須 | 1) 専門研修施設総数 2) 指導医数 3) 都道府県に研修施設があり、指導医がいる(47が目標)都道府県数を記載 4) 同じブロックで研修体制を確立できる見込み(上記を満たさない場合) | 531 1211 47 - | | | 100 | 参考 ←合算 47で100点、36以上で50点、36未満で0点 都道府県の全てのブロック内で体制が組める場合50点加算 |
| 6. 専門医制度の安定性 | 1) 専門医制度創設からの年数(目標10年以上)年数を記載 2) 1回以上の資格更新者の割合(目標30%以上)何%かを記載 3) 無試験の専門医数の割合(目標10%未満)何%かを記載 | 17 70 36 | | | 42 | ←平均点 <10年:0点 <20年:50点 <30年:75点 ≥30年:100点 <40%:0点 <60%:50点 <80%:75点 ≥80%:100点 ≥30%:0点 <30%:50点 <20%:75点 <10%:100点 |
| 7. 専門研修整備基準 | 1) 専門研修施設の指定と指導 2) 専門研修施設に偏りが無い 3) 一定以上の症例経験が確保されている 4) 研修の修了基準が明確 5) 女性医師や地域枠に配慮している | | | | 88 | ←平均点 |
| 8. 客観的基準に基づく専門医認定 | 1) 客観的な試験 2) 認定試験の承認 | | | | 88 | ←平均点 |
| 9. 全体評価 | 全体的な評価 | | | | 89 | ←すべての平均点 |
| 10. 総合評価 | | | | | | 合否 |

18.呼吸器外科

| 評価項目 | 委員 | | | | 平均値 | 備考 |
|-----------------------|--|----------------------------------|---|-----|-----|--|
| | 数値 | 有 | 無 | 要確認 | | |
| 1. 専門医像と社会的使命 必須 | 1) 社会的使命 2) 対象となる患者像とその推定数 3) 専門医の素養と必要な知識、実施可能となる手技 4) 現状で該当する社会的役割の有無 | | | | 82 | ←平均点 |
| 2. 基本領域の承認 必須 | 1) 最も医師数の多い基本領域の医師数割合(%)と承認の有無 (外科) 2) 2番目に医師数の多い基本領域の医師数割合(%)と承認の有無 3) 3番目に医師数の多い基本領域の医師数割合(%)と承認の有無 | 99.9 | ○ | | 100 | 有が必須要件 1)での承認あり 100点 2)3)参考 |
| 3. サブスペシャリティ領域としての認知 | 1)-a 常勤医による診療科・部門あり・大学病院本院(50%以上が目標)何%かを記載 1)-b 常勤医による診療科・部門あり・臨床研修病院(25%以上が目標)何%かを記載 2)-a 常勤医による週1回以上の専門外来・大学病院本院(75%以上が目標)何%かを記載 2)-b 常勤医による週1回以上の専門外来・臨床研修病院(50%以上が目標)何%かを記載 | 100 59 100 23 | | | 100 | ←最高点 75%以上100点、50%以上75点、40%以上50点、40%未満0点 50%以上100点、25%以上75点、15%以上50点、15%未満0点 90%以上100点、75%以上75点、50%以上50点、50%未満0点 75%以上100点、50%以上75点、40%以上50点、40%未満0点 |
| 4. 専門医数 | 1) 専門医数 2) 学会の総医師数 3) 大学病院に1名以上の常勤医(100%が目標)何%かを記載 4) 臨床研修病院に1名以上の常勤医(50%以上が目標)何%かを記載 5) 専門医が2名以上の都道府県数(47が目標)都道府県数を記載 | 1496 11206 100 45 47 | | | 100 | 参考 ←最高点 100%で100点、75%以上で50点、75%未満で0点 75%以上100点、50%以上75点、40%以上50点、40%未満0点 47で100点、36以上で50点、36未満で0点 |
| 5. 専門研修施設数・指導医数 必須 | 1) 専門研修施設総数 2) 指導医数 3) 都道府県に研修施設があり、指導医がいる(47が目標)都道府県数を記載 4) 同じブロックで研修体制を確立できる見込み(上記を満たさない場合) | 654 1145 47 - | | | 100 | 参考 ←合算 47で100点、36以上で50点、36未満で0点 都道府県の全てのブロック内で体制が組める場合50点加算 |
| 6. 専門医制度の安定性 | 1) 専門医制度創設からの年数(目標10年以上)年数を記載 2) 1回以上の資格更新者の割合(目標30%以上)何%かを記載 3) 無試験の専門医数の割合(目標10%未満)何%かを記載 | 17 76.3 34.6 | | | 42 | ←平均点 <10年:0点 <20年:50点 <30年:75点 ≥30年:100点 <40%:0点 <60%:50点 <80%:75点 ≥80%:100点 ≥30%:0点 <30%:50点 <20%:75点 <10%:100点 |
| 7. 専門研修整備基準 | 1) 専門研修施設の指定と指導 2) 専門研修施設に偏りが無い 3) 一定以上の症例経験が確保されている 4) 研修の修了基準が明確 5) 女性医師や地域枠に配慮している | | | | 82 | ←平均点 |
| 8. 客観的基準に基づく専門医認定 | 1) 客観的な試験 2) 認定試験の承認 | | | | 88 | ←平均点 |
| 9. 全体評価 | 全体的な評価 | | | | 87 | ←すべての平均点 |
| 10. 総合評価 | | | | | | 合否 |

| | |
|-----------------|--|
| 事務局入力欄 | サブスペシャリティ領域23領域 |
| 自動計算欄 | 消化器病・循環器・呼吸器・血液・内分泌代謝科・糖尿病・腎臓・肝臓・アレルギー・感染症・老年病・神経内科・リウマチ・消化器内視鏡・がん薬物療法 |
| 委員入力欄(該当に1を入れる) | 消化器外科・呼吸器外科・心臓血管外科・小児外科・乳腺・内分泌外科 放射線診断・放射線治療 |

※小数点四捨五入

19.小児外科

| 評価項目 | 委員 | | | | 平均値 | 備考 |
|-----------------------|--|-----------------------------------|---|-----|-----|--|
| | 数値 | 有 | 無 | 要確認 | | |
| 1. 専門医像と社会的使命 必須 | 1) 社会的使命 2) 対象となる患者像とその推定数 3) 専門医の素養と必要な知識、実施可能となる手技 4) 現状で該当する社会的役割の有無 | | | | 93 | ←平均点 |
| 2. 基本領域の承認 必須 | 1) 最も医師数の多い基本領域の医師数割合(%)と承認の有無 (外科) 2) 2番目に医師数の多い基本領域の医師数割合(%)と承認の有無 3) 3番目に医師数の多い基本領域の医師数割合(%)と承認の有無 | 100 | ○ | | 100 | 有が必須要件 1)での承認あり 100点 2)3)参考 |
| 3. サブスペシャリティ領域としての認知 | 1)-a 常勤医による診療科・部門あり・大学病院本院(50%以上が目標) 何%かを記載 1)-b 常勤医による診療科・部門あり・臨床研修病院(25%以上が目標) 何%かを記載 2)-a 常勤医による週1回以上の専門外来・大学病院本院(75%以上が目標) 何%かを記載 2)-b 常勤医による週1回以上の専門外来・臨床研修病院(50%以上が目標) 何%かを記載 | 75.3 10.4 95.1 | | | 100 | ←最高点 75%以上100点、50%以上75点、40%以上50点、40%未満0点 50%以上100点、25%以上75点、15%以上50点、15%未満0点 90%以上100点、75%以上75点、50%以上50点、50%未満0点 75%以上100点、50%以上75点、40%以上50点、40%未満0点 |
| 4. 専門医数 | 1) 専門医数 2) 学会の総医師数 3) 大学病院に1名以上の常勤医(100%が目標)何%かを記載 4) 臨床研修病院に1名以上の常勤医(50%以上が目標)何%かを記載 5) 専門医が2名以上の都道府県数(47が目標) 都道府県数を記載 | 595 1887 85.7 36.2 44 | | | 50 | 参考 ←最高点 100%で100点、75%以上で50点、75%未満で0点 75%以上100点、50%以上75点、40%以上50点、40%未満0点 47で100点、36以上で50点、36未満で0点 |
| 5. 専門研修施設数・指導医数 必須 | 1) 専門研修施設総数 2) 指導医数 3) 都道府県に研修施設があり、指導医がいる(47が目標) 都道府県数を記載 4) 同じブロックで研修体制を確立できる見込み(上記を満たさない場合) | 164 284 40 - | ○ | | 100 | 参考 ←合算 47で100点、36以上で50点、36未満で0点 都道府県の全てのブロック内で体制が組める場合50点加算 |
| 6. 専門医制度の安定性 | 1) 専門医制度創設からの年数(目標10年以上) 年数を記載 2) 1回以上の資格更新者の割合(目標30%以上) 何%かを記載 3) 無試験の専門医数の割合(目標10%未満) 何%かを記載 | 17 79 0 | | | 75 | ←平均点 <10年:0点 <20年:50点 <30年:75点 ≥30年:100点 <40%:0点 <60%:50点 <80%:75点 ≥80%:100点 ≥30%:0点 <30%:50点 <20%:75点 <10%:100点 |
| 7. 専門研修整備基準 | 1) 専門研修施設の指定と指導 2) 専門研修施設に偏りが無い 3) 一定以上の症例経験が確保されている 4) 研修の修了基準が明確 5) 女性医師や地域枠に配慮している | | | | 77 | ←平均点 |
| 8. 客観的基準に基づく専門医認定 | 1) 客観的な試験 2) 認定試験の承認 | | | | 88 | ←平均点 |
| 9. 全体評価 | 全体的な評価 | | | | 85 | ←すべての平均点 |
| 10. 総合評価 | | | | | | 合否 |

20.内分泌外科

| 評価項目 | 委員 | | | | 平均値 | 備考 |
|-----------------------|--|---------------------------------|---|-----|-----|--|
| | 数値 | 有 | 無 | 要確認 | | |
| 1. 専門医像と社会的使命 必須 | 1) 社会的使命 2) 対象となる患者像とその推定数 3) 専門医の素養と必要な知識、実施可能となる手技 4) 現状で該当する社会的役割の有無 | | | | 68 | ←平均点 |
| 2. 基本領域の承認 必須 | 1) 最も医師数の多い基本領域の医師数割合(%)と承認の有無 (外科) 2) 2番目に医師数の多い基本領域の医師数割合(%)と承認の有無 (耳鼻科) 3) 3番目に医師数の多い基本領域の医師数割合(%)と承認の有無 (泌尿器科) | 71.5 13.9 12.5 | ○ | | 100 | 有が必須要件 1)での承認あり 100点 2)3)参考 |
| 3. サブスペシャリティ領域としての認知 | 1)-a 常勤医による診療科・部門あり・大学病院本院(50%以上が目標) 何%かを記載 1)-b 常勤医による診療科・部門あり・臨床研修病院(25%以上が目標) 何%かを記載 2)-a 常勤医による週1回以上の専門外来・大学病院本院(75%以上が目標) 何%かを記載 2)-b 常勤医による週1回以上の専門外来・臨床研修病院(50%以上が目標) 何%かを記載 | 79 20.5 86.4 19.9 | | | 100 | ←最高点 75%以上100点、50%以上75点、40%以上50点、40%未満0点 50%以上100点、25%以上75点、15%以上50点、15%未満0点 90%以上100点、75%以上75点、50%以上50点、50%未満0点 75%以上100点、50%以上75点、40%以上50点、40%未満0点 |
| 4. 専門医数 | 1) 専門医数 2) 学会の総医師数 3) 大学病院に1名以上の常勤医(100%が目標)何%かを記載 4) 臨床研修病院に1名以上の常勤医(50%以上が目標)何%かを記載 5) 専門医が2名以上の都道府県数(47が目標) 都道府県数を記載 | 344 1805 59 11.4 39 | | | 50 | 参考 ←最高点 100%で100点、75%以上で50点、75%未満で0点 75%以上100点、50%以上75点、40%以上50点、40%未満0点 47で100点、36以上で50点、36未満で0点 |
| 5. 専門研修施設数・指導医数 必須 | 1) 専門研修施設総数 2) 指導医数 3) 都道府県に研修施設があり、指導医がいる(47が目標) 都道府県数を記載 4) 同じブロックで研修体制を確立できる見込み(上記を満たさない場合) | 192 278 40 - | ○ | | 100 | 参考 ←合算 47で100点、36以上で50点、36未満で0点 都道府県の全てのブロック内で体制が組める場合50点加算 |
| 6. 専門医制度の安定性 | 1) 専門医制度創設からの年数(目標10年以上) 年数を記載 2) 1回以上の資格更新者の割合(目標30%以上) 何%かを記載 3) 無試験の専門医数の割合(目標10%未満) 何%かを記載 | 11 82 0 | | | 83 | ←平均点 <10年:0点 <20年:50点 <30年:75点 ≥30年:100点 <40%:0点 <60%:50点 <80%:75点 ≥80%:100点 ≥30%:0点 <30%:50点 <20%:75点 <10%:100点 |
| 7. 専門研修整備基準 | 1) 専門研修施設の指定と指導 2) 専門研修施設に偏りが無い 3) 一定以上の症例経験が確保されている 4) 研修の修了基準が明確 5) 女性医師や地域枠に配慮している | | | | 69 | ←平均点 |
| 8. 客観的基準に基づく専門医認定 | 1) 客観的な試験 2) 認定試験の承認 | | | | 83 | ←平均点 |
| 9. 全体評価 | 全体的な評価 | | | | 82 | ←すべての平均点 |
| 10. 総合評価 | | | | | | 合否 |

| |
|-----------------|
| 事務局入力欄 |
| 自動計算欄 |
| 委員入力欄(該当に1を入れる) |

サブスペシャリティ領域23領域
 消化器病・循環器・呼吸器・血液・内分泌代謝科・糖尿病・腎臓・肝臓・アレルギー・感染症・老年病・神経内科・リウマチ・消化器内視鏡・がん薬物療法
 消化器外科・呼吸器外科・心臓血管外科・小児外科・乳腺・内分泌外科
 放射線診断・放射線治療

※小数点四捨五入

21.乳腺

| | 評価項目 | 委員 | | | | 平均値 | 備考 |
|-----------------------|--|------------------------------------|------------|------------|-----|-----|--|
| | | 数値 | 有 | 無 | 要確認 | | |
| 1. 専門医像と社会的使命 必須 | 1) 社会的使命 2) 対象となる患者像とその推定数 3) 専門医の素養と必要な知識、実施可能となる手技 4) 現状で該当する社会的役割の有無 | | | | | 86 | ←平均点 |
| 2. 基本領域の承認 必須 | 1) 最も医師数の多い基本領域の医師数割合(%)と承認の有無 (外科) 2) 2番目に医師数の多い基本領域の医師数割合(%)と承認の有無 (放射線科) 3) 3番目に医師数の多い基本領域の医師数割合(%)と承認の有無 (内科) | 96 2 1 | ○ ○ | ○ ○ | | 100 | 有が必須要件 1)での承認あり 100点 2)3)参考 |
| 3. サブスペシャリティ領域としての認知 | 1)-a 常勤医による診療科・部門あり・大学病院本院(50%以上が目標) 何%かを記載 1)-b 常勤医による診療科・部門あり・臨床研修病院(25%以上が目標) 何%かを記載 2)-a 常勤医による週1回以上の専門外来・大学病院本院(75%以上が目標) 何%かを記載 2)-b 常勤医による週1回以上の専門外来・臨床研修病院(50%以上が目標) 何%かを記載 | 90.7 91.9 98.8 51.6 | | | | 100 | ←最高点 75%以上100点、50%以上75点、40%以上50点、40%未満0点 50%以上100点、25%以上75点、15%以上50点、15%未満0点 90%以上100点、75%以上75点、50%以上50点、50%未満0点 75%以上100点、50%以上75点、40%以上50点、40%未満0点 |
| 4. 専門医数 | 1) 専門医数 2) 学会の総医師数 3) 大学病院に1名以上の常勤医(100%が目標) 何%かを記載 4) 臨床研修病院に1名以上の常勤医(50%以上が目標) 何%かを記載 5) 専門医が2名以上の都道府県数(47が目標) 都道府県数を記載 | 1690 8199 98.8 42.6 47 | | | | 100 | 参考 ←最高点 100%で100点、75%以上で50点、75%未満で0点 75%以上100点、50%以上75点、40%以上50点、40%未満0点 47で100点、36以上で50点、36未満で0点 |
| 5. 専門研修施設数・指導医数 必須 | 1) 専門研修施設総数 2) 指導医数 3) 都道府県に研修施設があり、指導医がいる(47が目標) 都道府県数を記載 4) 同じブロックで研修体制を確立できる見込み(上記を満たさない場合) | 979 828 47 - | | | | 100 | 参考 ←合算 47で100点、36以上で50点、36未満で0点 都道府県の全てのブロック内で体制が組める場合50点加算 |
| 6. 専門医制度の安定性 | 1) 専門医制度創設からの年数(目標10年以上) 年数を記載 2) 1回以上の資格更新者の割合(目標30%以上) 何%かを記載 3) 無試験の専門医数の割合(目標10%未満) 何%かを記載 | 22 69 0 | | | | 83 | ←平均点 ←最高点 <10年:0点 <20年:50点 <30年:75点 ≥30年:100点 <40%:0点 <60%:50点 <80%:75点 ≥80%:100点 ≥30%:0点 <30%:50点 <20%:75点 <10%:100点 |
| 7. 専門研修整備基準 | 1) 専門研修施設の指定と指導 2) 専門研修施設に偏りが無い 3) 一定以上の症例経験が確保されている 4) 研修の修了基準が明確 5) 女性医師や地域枠に配慮している | | | | | 78 | ←平均点 |
| 8. 客観的基準に基づく専門医認定 | 1) 客観的な試験 2) 認定試験の承認 | | | | | 88 | ←平均点 |
| 9. 全体評価 | 全体的な評価 | | | | | 92 | ←すべての平均点 |
| 10. 総合評価 | | | | | | | 合否 |

22.放射線診断

| | 評価項目 | 委員 | | | | 平均値 | 備考 |
|-----------------------|--|-----------------------------------|---------------|--------------|-----|-----|--|
| | | 数値 | 有 | 無 | 要確認 | | |
| 1. 専門医像と社会的使命 必須 | 1) 社会的使命 2) 対象となる患者像とその推定数 3) 専門医の素養と必要な知識、実施可能となる手技 4) 現状で該当する社会的役割の有無 | | | | | 80 | ←平均点 |
| 2. 基本領域の承認 必須 | 1) 最も医師数の多い基本領域の医師数割合(%)と承認の有無 (放射線科) 2) 2番目に医師数の多い基本領域の医師数割合(%)と承認の有無 3) 3番目に医師数の多い基本領域の医師数割合(%)と承認の有無 | 100 | ○ | | | 100 | 有が必須要件 1)での承認あり 100点 2)3)参考 |
| 3. サブスペシャリティ領域としての認知 | 1)-a 常勤医による診療科・部門あり・大学病院本院(50%以上が目標) 何%かを記載 1)-b 常勤医による診療科・部門あり・臨床研修病院(25%以上が目標) 何%かを記載 2)-a 常勤医による週1回以上の専門外来・大学病院本院(75%以上が目標) 何%かを記載 2)-b 常勤医による週1回以上の専門外来・臨床研修病院(50%以上が目標) 何%かを記載 | 100 31.26 100 31.26 | | | | 100 | ←最高点 75%以上100点、50%以上75点、40%以上50点、40%未満0点 50%以上100点、25%以上75点、15%以上50点、15%未満0点 90%以上100点、75%以上75点、50%以上50点、50%未満0点 75%以上100点、50%以上75点、40%以上50点、40%未満0点 |
| 4. 専門医数 | 1) 専門医数 2) 学会の総医師数 3) 大学病院に1名以上の常勤医(100%が目標) 何%かを記載 4) 臨床研修病院に1名以上の常勤医(50%以上が目標) 何%かを記載 5) 専門医が2名以上の都道府県数(47が目標) 都道府県数を記載 | 5642 9485 100 24.2 47 | | | | 100 | 参考 ←最高点 <10年:0点 <20年:50点 <30年:75点 ≥30年:100点 <40%:0点 <60%:50点 <80%:75点 ≥80%:100点 ≥30%:0点 <30%:50点 <20%:75点 <10%:100点 |
| 5. 専門研修施設数・指導医数 必須 | 1) 専門研修施設総数 2) 指導医数 3) 都道府県に研修施設があり、指導医がいる(47が目標) 都道府県数を記載 4) 同じブロックで研修体制を確立できる見込み(上記を満たさない場合) | 897 2925 47 - | | | | 100 | 参考 ←合算 47で100点、36以上で50点、36未満で0点 都道府県の全てのブロック内で体制が組める場合50点加算 |
| 6. 専門医制度の安定性 | 1) 専門医制度創設からの年数(目標10年以上) 年数を記載 2) 1回以上の資格更新者の割合(目標30%以上) 何%かを記載 3) 無試験の専門医数の割合(目標10%未満) 何%かを記載 | 53 90 0 | | | | 100 | ←平均点 ←最高点 <10年:0 <20年:50点 <30年:75点 ≥30年:100点 <40%:0 <60%:50点 <80%:75点 ≥80%:100点 ≥30%:0 <30%:50点 <20%:75点 <10%:100点 |
| 7. 専門研修整備基準 | 1) 専門研修施設の指定と指導 2) 専門研修施設に偏りが無い 3) 一定以上の症例経験が確保されている 4) 研修の修了基準が明確 5) 女性医師や地域枠に配慮している | | | | | 78 | ←平均点 |
| 8. 客観的基準に基づく専門医認定 | 1) 客観的な試験 2) 認定試験の承認 | | | | | 88 | ←平均点 |
| 9. 全体評価 | 全体的な評価 | | | | | 93 | ←すべての平均点 |
| 10. 総合評価 | | | | | | | 合否 |

| |
|-----------------|
| 事務局入力欄 |
| 自動計算欄 |
| 委員入力欄(該当に1を入れる) |

サブスペシャルティ領域23領域

消化器病・循環器・呼吸器・血液・内分泌代謝科・糖尿病・腎臓・肝臓・アレルギー・感染症・老年病・神経内科・リウマチ・消化器内視鏡・がん薬物療法
 消化器外科・呼吸器外科・心臓血管外科・小児外科・乳腺・内分泌外科
 放射線診断・放射線治療

※小数点四捨五入

23.放射線治療

| | 評価項目 | 委員 | | | | 平均値 | 評価 |
|-----------------------|--|------------------------------------|---|---|-----|-----|--|
| | | 数値 | 有 | 無 | 要確認 | | |
| 1. 専門医像と社会的使命 必須 | 1) 社会的使命 2) 対象となる患者像とその推定数 3) 専門医の素養と必要な知識、実施可能となる手技 4) 現状で該当する社会的役割の有無 | | | | | 73 | ←平均点 |
| 2. 基本領域の承認 必須 | 1) 最も医師数の多い基本領域の医師数割合(%)と承認の有無 (放射線科) 2) 2番目に医師数の多い基本領域の医師数割合(%)と承認の有無 3) 3番目に医師数の多い基本領域の医師数割合(%)と承認の有無 | 100 | ○ | | | 100 | 有が必須要件 1)での承認あり 100点 2)3)参考 |
| 3. サブスペシャルティ領域としての認知 | 1)-a 常勤医による診療科・部門あり・大学病院本院(50%以上が目標) 何%かを記載 1)-b 常勤医による診療科・部門あり・臨床研修病院(25%以上が目標) 何%かを記載 2)-a 常勤医による週1回以上の専門外来・大学病院本院(75%以上が目標) 何%かを記載 2)-b 常勤医による週1回以上の専門外来・臨床研修病院(50%以上が目標) 何%かを記載 | 100 16.29 100 16.29 | | | | 100 | ←最高点 75%以上100点、50%以上75点、40%以上50点、40%未満0点 50%以上100点、25%以上75点、15%以上50点、15%未満0点 90%以上100点、75%以上75点、50%以上50点、50%未満0点 75%以上100点、50%以上75点、40%以上50点、40%未満0点 |
| 4. 専門医数 | 1) 専門医数 2) 学会の総医師数 3) 大学病院に1名以上の常勤医(100%が目標) 何%かを記載 4) 臨床研修病院に1名以上の常勤医(50%以上が目標) 何%かを記載 5) 専門医が2名以上の都道府県数(47が目標) 都道府県数を記載 | 1232 7139 100 13.62 47 | | | | 100 | 参考 ←最高点 100%で100点、75%以上で50点、75%未満で0点 75%以上100点、50%以上75点、40%以上50点、40%未満0点 47で100点、36以上で50点、36未満で0点 |
| 5. 専門研修施設数・指導医数 必須 | 1) 専門研修施設総数 2) 指導医数 3) 都道府県に研修施設があり、指導医がいる(47が目標) 都道府県数を記載 4) 同じブロックで研修体制を確立できる見込み(上記を満たさない場合) | 897 794 47 - | | | | 100 | 参考 ←合算 47で100点、36以上で50点、36未満で0点 都道府県の全てのブロック内で体制が組める場合50点加算 |
| 6. 専門医制度の安定性 | 1) 専門医制度創設からの年数(目標10年以上) 年数を記載 2) 1回以上の資格更新者の割合(目標30%以上) 何%かを記載 3) 無試験の専門医数の割合(目標10%未満) 何%かを記載 | 53 84 0 | | | | 100 | ←平均点 <10年:0点 <20年:50点 <30年:75点 ≥30年:100点 <40%:0点 <60%:50点 <80%:75点 ≥80%:100点 ≥30%:0点 <30%:50点 <20%:75点 <10%:100点 |
| 7. 専門研修整備基準 | 1) 専門研修施設の指定と指導 2) 専門研修施設に偏りが無い 3) 一定以上の症例経験が確保されている 4) 研修の修了基準が明確 5) 女性医師や地域枠に配慮している | | | | | 77 | ←平均点 |
| 8. 客観的基準に基づく専門医認定 | 1) 客観的な試験 2) 認定試験の承認 | | | | | 85 | ←平均点 |
| 9. 全体評価 | 全体的な評価 | | | | | 92 | ←すべての平均点 |
| 10. 総合評価 | | | | | | | 合否 |